

都立国際高校 年間授業計画/Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

科目基礎情報/Course information				
開講年度/Academic year	令和4年度/2022年度			
開講学科/Department	国際学科国際バカロレアコース/IBDP(International Baccalaureate Diploma Programme)			
教科/Subject	IBDP Studies in language and literature			
科目/Course Title	Japanese A: Literature HL			
学年・クラス/Year・Class	DP2 (3年生)			
単位数/credits	6			
科目概要情報/Course description				
講座概要/Course description	「言語A:文学」コースは、日本語を母語(第一言語)とする生徒を対象に、文学批評に関わる文学的な技法についての理解を深め、文学作品を独自に批評する力を育成するコースである。			
到達目標/Course objectives	①文化的背景が異なる人々のものの見方があることへを認識する。 ②自分の言語文化に対して尊重する気持ちを養う。 ③表現力(口述および記述によるコミュニケーション)を見につける。 ④文学批評に使用される技法について理解する。 ⑤文学作品を独自に批評し、論拠をもって構成する能力を身につける。			
評価方法と評価基準/Evaluation method and criteria	外部評価 筆記試験 試験問題1:設問つき文学分析(2時間15分) 試験問題2:比較小論文(1時間45分) 記述課題 HL小論文	内部評価 個人口述 (Individual Oral)		
教科書/Textbooks	夏目漱石『三四郎』(角川文庫)、森鷗外『舞姫・阿部一族』(新潮文庫)、有吉佐和子『華岡青洲の妻』(新潮文庫)、萩原朔太郎詩集『(新潮文庫)、村上春樹『風の歌を聴け』(講談社文庫)、上田秋成『雨月物語』(ちくま学芸文庫)、木村敏『あいだ』(ちくま学芸文庫)、ヘンリック・イブセン『人形の家』(岩波文庫)、カズオ・イシグロ『日の名残り』(ハヤカワepi文庫)、ジョージ・オーウェル『1984年』、ジョン・スタインベック『ハツカネズミと人間』(新潮文庫)、マルグリット・デュラス『モデラート・カンタービレ』(河出文庫)、『完訳三国志』(岩波文庫)			
校外学習/Field trip	予定なし			
授業計画/Course schedule				
	指導項目/Topic	指導内容/Contents	評価の方法・基準/Evaluation method and criteria	予定時数/Alotted hours
1学期/1st semester	4月 『三四郎』	○小説の面白さを味わわせ、主体的な読解の仕方を身につけさせる。 ○言葉の持つ象徴性や美しさを分析し、言葉に対する感受性を豊かにする。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○最終試験の比較分析に必要な項目について整理し、各作品の理解を深める。	関心・意欲・態度/話す・聞く能力/書く能力/読む能力/言語についての知識・理解・技能、 分析批評	22
	5月 最終課題(IA) 個人口述に向けた復習	○演習を通して個々の作品に対する理解をさらに深める。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○個人口述の形式に慣れさせる。	関心・意欲・態度/話す・聞く能力/書く能力/読む能力/言語についての知識・理解・技能、 個人口述(10)	22
	6月 Part 1演習 MockIに向けた復習	○演習を通して個々の作品に対する理解をさらに深める。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○Paper 1の形式に慣れさせる。	関心・意欲・態度/話す・聞く能力/書く能力/読む能力/言語についての知識・理解・技能、 個人口述(10)	34
	7月 学習した作品の復習 Part 1演習 MockIに向けた復習	○演習を通して個々の作品に対する理解をさらに深める。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○Paper 1の形式に慣れさせる。	関心・意欲・態度/書く能力/言語についての知識・理解・技能、 Paper 1	32
2学期/2nd semester	9月 学習した作品の復習	○小説の面白さを味わわせ、主体的な読解の仕方を身につけさせる。 ○言葉の持つ象徴性や美しさを分析し、言葉に対する感受性を豊かにする。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○最終試験の比較分析に必要な項目について整理し、各作品の理解を深める。	関心・意欲・態度/書く能力/言語についての知識・理解・技能、 最終試験: Paper 1	22
	10月 最終試験演習(Paper 1)	○演習を通して個々の作品に対する理解をさらに深める。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○Paper 1の形式に慣れさせる。	関心・意欲・態度/書く能力/言語についての知識・理解・技能、 最終試験: Paper 1	32
	11月 IBDP最終試験	○試験問題1の演習:過去問題から抽出した質問項目に沿って初見作品分析する。	関心・意欲・態度/書く能力/言語についての知識・理解・技能、 最終試験: Paper 1	22
	12月 振り返り	○主として下記の点について、「日本語A:文学」2年間の学習過程を振り返る。 ・文学の探究を通して、「十の学習者像」の諸要素をどのように身に付けることができたか。 ・文学の探究を通して、どの程度ATLスキルを身に付けることができたか。 ・文学の探究を通して、自身の思考のスタイルにはどの程度/どのような変化があったか。	関心・意欲・態度/言語についての知識・理解・技能	12
3学期/3rd semester	1月 文学理論補講	○テキスト理論(現象学、構造主義)	関心・意欲・態度/言語についての知識・理解・技能	12
	2月 文学理論補講	○テキスト理論(ポスト構造主義)	関心・意欲・態度/言語についての知識・理解・技能	12
	3月 批評実践	○文学テキスト、非文学テキスト批評	関心・意欲・態度/言語についての知識・理解・技能	12